

(別紙1)

この度、以下の通り公益財団法人JKAから2019年度競輪公益資金による補助金の交付を受け、「2019年度国内スポーツ・パラスポーツ競技力向上のための補助事業」を完了いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、公益財団法人JKAをはじめ、ご協力賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

- | | | |
|---|------|--------------------------------------|
| 1 | 事業名 | 2019年度国内スポーツ・パラスポーツ競技力向上
のための補助事業 |
| 2 | 総事業費 | 25,402,799円 |
| 3 | 補助金額 | 20,321,434円 |
| 4 | 完了日 | 令和元年10月19日 |

(別紙1)

事業の実施内容及び成果に関する報告書

1 事業名

2019年度国内スポーツ・パラスポーツ競技力向上のための補助事業

2 事業の実施経過

(1) 事務手続関係

2019年 4月11日 交付決定通知書受理 (4月1日付)
5月16日 補助金交付誓約書・振込依頼届提出
10月30日 状況に関する報告書提出
2020年 2月 3日 清算払申請書提出
2月28日 補助金受領 (20,321,434円)

(2) 事業関係

①第19回全国障害者スポーツ大会 (茨城県)

令和元年4月1日 いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会と委託契約締結。

令和元年10月12日～14日 台風19号により中止。

②第19回全国障害者スポーツ大会予選会実施

令和元年4月1日 (一財)全日本ろうあ連盟スポーツ委員会、(社福)日本盲人会連合会全日本グランドソフトボール連盟、日本車いすバスケットボール連盟、(一社)全日本知的障がい者スポーツ協会、(公社)日本精神保健福祉連盟精神障害者スポーツ推進委員会とそれぞれと委託契約締結。

令和元年4月～7月 全国6～8ブロックで各団体競技予選会を実施。

③国際盲人マラソン大会

令和元年4月 1日 かすみがうらマラソン大会実行委員会と委託契約締結。

4月14日 大会実施

④国際大会日本代表ユニフォーム経費

ブリスベン2019 INASグローバルゲームズ

令和元年4月 ユニフォーム業者の選定

令和元年4月15日 美津濃株式会社と物品購入契約書締結。

令和元年10月12日開会式 ～ 19日閉会式 (8日間)

(別紙1)

3 実施内容及び成果

(1) 実施内容

①第19回全国障害者スポーツ大会（茨城大会）

開催日：令和元年10月12日（土）～14日（月・祝）

実施場所：茨城県内（笠松運動公園陸上競技場 他）

開催競技：陸上競技、水泳、卓球（サウンドテーブルテニス含む）、フライングディスク、アーチェリー、ボウリング、バスケットボール、車いすバスケットボール、ソフトボール、グランドソフトボール、フットベースボール、バレーボールサッカー

オープン競技：グラウンド・ゴルフ、車いすダンス、スポーツウエルネス吹矢、卓球バレー、ハンドアーチェリー、ブラインドテニス

※台風19号の影響により10月10日（木）午後大会中止を決定。

②第19回全国障害者スポーツ大会予選会

1) 聴覚障害者バレーボール競技

全国を6地区に分け令和元年5月18日～6月16日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

	(男子)	(女子)		
北海道・東北	青森県	福島県	—	—
関東	栃木県	東京都	5月25日～26日	ひたちなか市総合運動公園体育館 (茨城県)
北信越・東海	愛知県	岐阜県	6月16日	山県市総合体育館（岐阜県）
近畿	大阪市	大阪市	5月19日	東近江市布引運動公園体育館 (滋賀県)
中国・四国	広島市	広島市	5月18日～19日	きびジアリーナ（岡山県）
九州	長崎県	沖縄県	5月18日	宮崎市総合体育館（宮崎県）



(別紙1)

2) 視覚障害者グランドソフトボール競技

全国を8地区に分け令和元年4月27日～6月16日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

北海道・東北	福島県	6月15日～16日	岩手県
関東	東京都	5月25日～26日	里美運動公園（茨城県）
北信越	長野県	5月19日	金沢テクノパーク運動広場（石川県）
東海	静岡県	5月19日	揖斐川健康広場（岐阜県）
近畿	大阪市	6月1日～2日	滋賀県
中国	広島県	5月18日～19日	広島県立びんご運動公園（広島県）
四国	高知県	5月11日～12日	香川県
九州	福岡県	4月27日～28日	熊本市水前寺・江津湖公園（熊本県）



3) 車いすバスケットボール競技

全国を6地区に分け令和元年5月25日～6月23日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

北海道・東北	福島県	6月22日～23日	能代山本スポーツリゾートセンター （秋田県）
関東	東京都	5月26日	つくばカピオ（茨城県）
北信越・東海	富山県	5月25日～26日	津市産業スポーツセンター（三重県）
近畿	兵庫県	6月2日	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター（大阪府）
中国・四国	岡山県	6月22日～23日	香川総合体育館（香川県）
九州	福岡県	6月1日～2日	福岡市総合体育館（福岡県）

(別紙1)

4) 知的障害者バスケットボール競技

全国を6地区に分け令和元年4月13日～6月16日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

(男子) (女子)

北海道・東北	秋田県	秋田県	6月15日～16日	あずま総合運動公園 (福島県)
関 東	東京都	神奈川県	5月26日	アダストリアみとアリーナ (茨城県)
北信越・東海	愛知県	愛知県	6月8日～9日	岐阜メモリアルセンター (岐阜県)
近 畿	大阪市	堺市	6月9日	ウカルちゃんアリーナ (滋賀県)
中国・四国	島根県	鳥取県	4月27日～28日	高知県立春野総合運動公園 (高知県)
九 州	福岡市	沖縄県	4月13日～14日	福岡市総合体育館 (福岡県)

5) 知的障害者バレーボール競技

全国を6地区に分け令和元年5月18日～6月16日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

(男子) (女子)

北海道・東北	岩手県	岩手県	6月9日	岩手県営体育館 (岩手県)
関 東	東京都	東京都	5月26日	かなくぼ総合体育館 (茨城県)
北信越・東海	愛知県	新潟市	5月26日	津市産業スポーツセンター (三重県)
近 畿	兵庫県	和歌山県	6月16日	和歌山県立体育館 (和歌山県)
中国・四国	山口県	山口県	5月18日～19日	善通寺市民体育館 (香川県)
九 州	北九州市	福岡県	6月8日	桜島総合体育館 (鹿児島県)



(別紙1)

6) 知的障害者サッカー競技

全国を6地区に分け令和元年4月20日～6月30日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

北海道・東北	札幌市	6月29日～30日	みやぎ生協めぐみ野サッカー場（宮城県）
関東	東京都	5月26日	ひたちなか市総合運動公園（茨城県）
北信越・東海	静岡県	6月15日～16日	小笠山総合運動公園（静岡県）
近畿	奈良県	6月9日	J-GREEN堺（兵庫県）
中国・四国	山口県	6月8日～9日	広島県立びんご運動公園（広島県）
九州	沖縄県	4月20日～21日	北九州市立本城陸上競技場（福岡県）



7) 知的障害者ソフトボール競技

全国を6地区に分け令和元年5月11日～6月22日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

北海道・東北	宮城県	6月22日	つど一む（北海道）
関東	千葉県	5月26日	山吹運動公園野球場（茨城県）
北信越・東海	愛知県	6月1日	口論義運動公園
近畿	兵庫県	6月9日	旭日橋公園運動場（大阪府）
中国・四国	岡山県	5月25日～26日	徳島市民吉野川北岸運動広場（徳島県）
九州	長崎県	5月11日	長与町総合公園（長崎県）

(別紙1)

8) 知的障害者フットベースボール競技

全国を6地区に分け令和元年5月11日～6月23日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

北海道・東北	岩手県	6月23日	今泉運動場（宮城県）
関東	東京都	5月26日	山吹運動公園（茨城県）
北信越・東海	静岡県	6月9日	みどりと森の運動公園（新潟県）
近畿	和歌山県	6月2日	総合運動公園球技場（兵庫県）
中国・四国	山口県	6月8日～9日	岡山ドーム（岡山県）
九州	熊本県	5月11日	長与町総合公園（長崎県）



9) 精神障害者バレーボール競技

全国を6地区に分け令和元年5月18日～6月2日の間に大会を実施し、次の通り出場チームを決定した。

北海道・東北	青森県	5月25日～26日	猪苗代町総合体育館「カリーナ」（福島県）
関東	埼玉県	5月25日～26日	松戸体育館（ひたちなか市）
北信越・東海	名古屋市	6月1日～2日	聖龍町町民会館（新潟県）
近畿	大阪府	6月2日	兵庫県立障害者スポーツ交流館（兵庫県）
中国・四国	岡山市	5月18日～19日	善通寺市民体育館（香川県）
九州	福岡県	5月19日	久留米アリーナ（福岡県）

(別紙1)

③国際盲人マラソン大会

実施日：平成31年4月14日（日）

実施場所：土浦市川口運動公園陸上競技場

参加者数：男子96名、女子38名、計134名



④国際大会日本代表ユニフォーム経費

大会名：ブリスベン2019INASグローバルゲームズ

実施日：令和元年10月12日（土）開会式～19日（土）閉会式（8日間）

実施場所：ブリスベン（オーストラリア・クイーンズランド州）

参加者数：選手57名 競技役員27名 本部役員7名 合計91名

実施競技：陸上競技、バスケットボール、自転車競技、フットサル、ボート、水泳、卓球、テコンドー、テニス

※下線競技に日本は参加。

成績：金メダル9個、銀メダル12個、銅メダル15個 計36個



(別紙1)

(2) 成 果

①第19回全国障害者スポーツ大会（茨城大会）

令和元年10月9日（水）に、台風19号の予想進路に茨城県が入り、選手団の安全面等を考慮し、10月10日（水）午後、大会の中止を決定した。大会の中止は過去に例がなく、大会史上初の決定となった。

大会中止が決定した際には、すでに茨城県入りしていた参加チームも多く、10日（木）の中止を受け、帰宅対応した参加県がほとんどだったが、中には飛行機、新幹線の席が取れず、予定通り、15日（火）まで、茨城県に滞在した県もあった。

そのよう中、10日、11日は選手団を輸送するためにバス対応を行ったため、実際には大会は中止となったが、バス輸送に係る経費が発生した。

②第19回全国障害者スポーツ大会予選会

全国障害者スポーツ大会の開催種目の中で、9競技12種目の団体競技において、全国を6～8ブロックに分けて予選会を行った。国内の障がい者スポーツの状況も考慮し、開催競技を決定しており、毎年多くのチームが予選会に参加し、熱戦を繰り広げた。

特に県外での試合はほとんど機会がなく、参加選手にとっては、全国大会に出場することが第一の目標ではあるが、ブロック予選会に出場し、普段とは違うチームとの対戦、慣れた環境から離れる体験など大変貴重で意味のあるものとなった。

③国際盲人マラソン大会

国内で開催される数少ない国際の公認レースとして、参加する選手にとって、今後の世界大会の出場に関わる大きな大会である。また、国内でも有数の参加者数を誇るかすみがうらマラソン大会と同時開催され、より多くの方にブラインドマラソンを知ってもらうことができた。

④国際大会日本代表ユニフォーム経費

4年に一度開催される、知的障がい者スポーツの国際総合大会である、ブリスベン2019INASグローバルゲームズの日本代表選手団のユニフォームを作成した。日本代表選手団91名は、日の丸の入ったユニフォームを着たことにより、より一層日本代表であるという意識をもち、大会に挑むことができた。結果、金メダル9個を含む36個のメダルを獲得することができた。